

沖永良部島地域流域治水プロジェクト【案】

※個別対策

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

沖永良部島地域流域治水協議会

沖永良部島地域流域治水プロジェクト

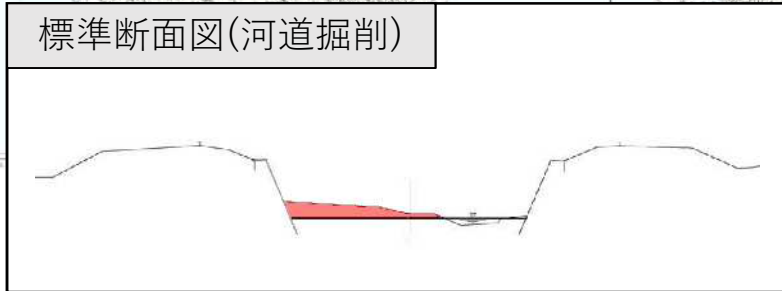
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

沖永良部島地域流域治水プロジェクト

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

河川整備箇所（河道掘削・樹木伐採）【鹿児島県】

○河道に堆積した土砂の掘削及び樹木の伐採により、流下能力の向上を図る。



区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫対策	河道掘削, 樹木伐採	鹿児島県	短期	中期 5か年加速化対策完了	中長期

沖永良部島地域流域治水プロジェクト

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

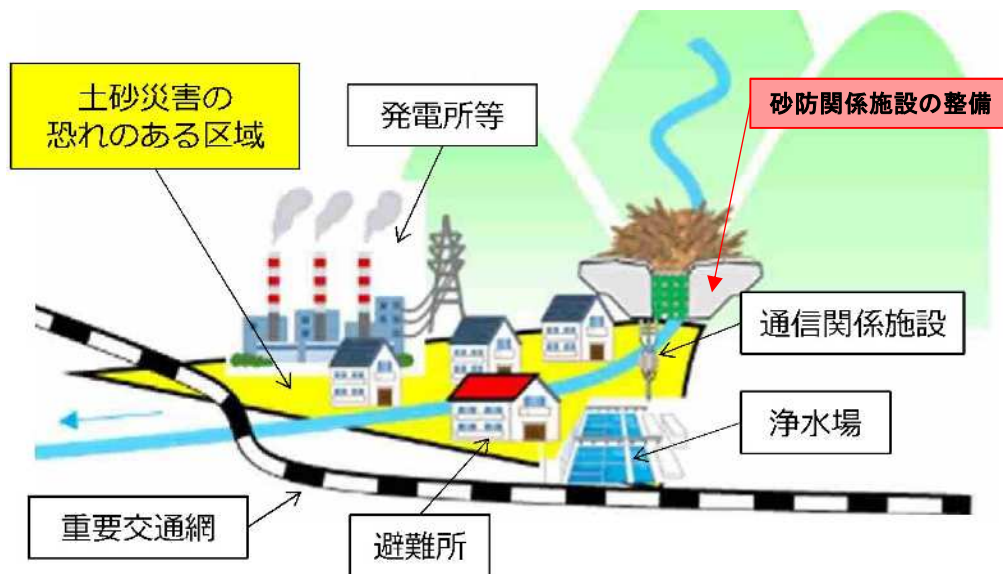
いのちと暮らしを守る土砂災害対策の推進【鹿児島県】

○社会・活動を支える地域の基礎的なインフラの集中保全

・ハード施設により確実に「いのち」を守ることに加え、物流ネットワークや電力、水道、通信、学校、病院など「暮らし」に直結する基礎的なインフラを集中的に保全

○土砂・洪水氾濫対策の推進

・上流域から流出した多量の土砂が谷出口より下流の河道に堆積し、河床上昇・河道埋塞により引き起こされる土砂、泥水及び流木の氾濫発生を防止



区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	土砂災害対策	いのちと暮らしを守る土砂災害対策の推進	鹿児島県		→	

沖永良部島地域流域治水プロジェクト

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

森林整備・保全、治山施設整備の取り組み【鹿児島県等】

- 間伐等の森林整備を行い、保水機能の維持を通じて、土砂や流木等の流出抑制を図る。
- 治山施設の整備による森林の復旧を行い、下流への土砂流出抑制を図る。

【治山施設整備イメージ】
山地災害の恐れのある森林



治山施設の整備（山腹工）



【森林整備イメージ】
土砂流出の恐れのある森林



林内が暗く下層植生が貧弱な森林

森林の整備（間伐）



間伐により下層植生が繁茂した森林



区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	流出抑制対策	森林整備	県・町・森林組合等	▶		
		治山施設整備	鹿児島県	▶		

沖永良部島地域流域治水プロジェクト

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

水路の維持及び整備の取り組み（石橋川・奥川水系）【和泊町】

水路の土砂除去



・水路の土砂除去を直営施工で実施

水路の改修工事



・排水不良地域解消のため改修工事を実施

■ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
・水路の維持及び整備による水害対策



区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫対策	水路の維持及び整備	和泊町			

沖永良部島地域流域治水プロジェクト

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

河川維持管理の取り組み（石橋川・奥川水系）【和泊町】

河川の清掃活動



・地域による河川区域の伐採作業を実施

- 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
 - ・ 準用河川を含む河川区域の伐採を行い、倒木等による河川閉塞を防ぐ



区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫対策	河川区域の伐採	和泊町	▶		

沖永良部島地域流域治水プロジェクト

～いつか必ず来る大規模出水に備え、災害に負けない地域づくりに向けて地域が一体となった防災・減災対策～

浸透池設置・側溝等の維持管理（余多川水系）【知名町】

- ・浸透池を設置することで、流出抑制対策を行う
また、側溝等に堆積した土砂の掘削により流下能力の向上を図る。



区分	対策内容	実施内容	事業主体	工 程		
				短 期	中 期	中長期
氾濫をできるだけ防く・減らすための対策	洪水氾濫対策	浸透池の設置	知名町			
		側溝等の維持管理				

沖永良部島地域流域治水プロジェクト

被害対象を減少させるための対策

沖永良部島地域流域治水プロジェクト

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

いのちとくらしを守る土砂災害対策の推進（ソフト対策）【鹿児島県】

○地域の防災力を高める警戒避難体制の強化

- ・土砂災害警戒区域等の指定を進め、認知度向上を図る。
- ・リスク情報をより分かりやすく伝えることで地域住民の理解を深めるとともに、自助・共助を強力に支援することで、地域全体の防災力を向上

土砂災害警戒区域等の指定

土砂災害警戒区域 : 23,110箇所
土砂災害特別警戒区域 : 19,545箇所
(令和4年3月末時点)

土砂災害防災訓練

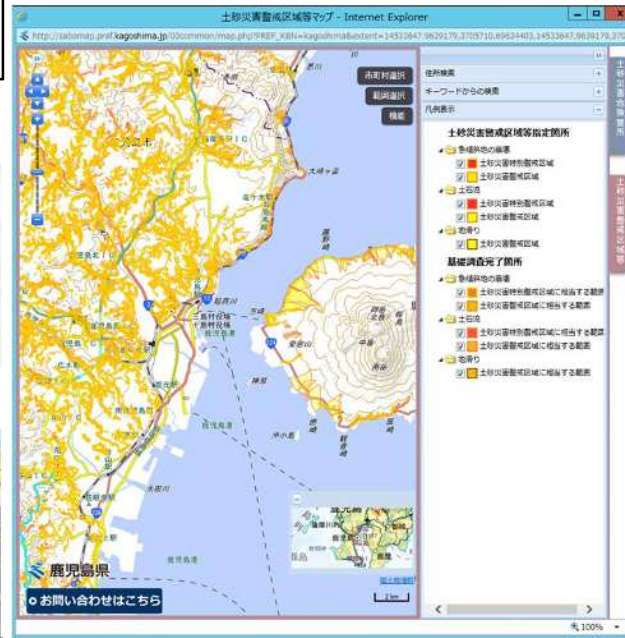


土砂災害に関する出前講座



土砂災害警戒区域，雨量，土砂災害警戒情報などのリスク情報の提供

鹿児島県土砂災害警戒区域等マップ



鹿児島県河川砂防情報システム



区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害対象を減少させるための対策	地域の防災力を高める警戒避難体制の強化	いのちとくらしを守る土砂災害対策の推進	鹿児島県			

沖永良部島地域流域治水プロジェクト

被害の軽減， 早期復旧・復興のための対策

沖永良部島地域流域治水プロジェクト

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

出前講座・防災学習の実施【気象庁】

eラーニング教材「大雨の時にどう逃げる」

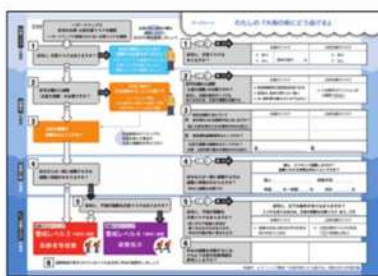
<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/knownow/jma-el/dounigeru.html>



動画とワークシートで基本的な知識ととるべき行動を学びます



動画教材



ワークシート

「自らの命は自らが守る」
基本の知識を身に付ける

約17分

大雨の時に...
「どこが危ない？」がわかる
「どこに逃げる？」がわかる
「何をしたらいい？」がわかる
「いつ避難したらいい？」がわかる



動画教材
を視聴

いざというときのために
ひとり一人の「避難行動」を整理

約30分

自分の...
「災害リスク」がわかる
「避難場所」がわかる
「避難にかかる時間」がわかる
「避難のタイミング」がわかる



ワークシート
に記入

別の防災研修、学習の前にこれだけやる！

「避難」の知識がある方は、ここから！

1時間の研修にピッタリ！



好きな時間
ペースで学べる

教材は、すべて気象庁
ホームページで公開しています

感染症
拡大防止

他人と接触せず
学べる教材です

専門家や経験者が
いなくても大丈夫

学習の進め方を解説する資料に
沿って進められます

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災学習の推進	出前講座・防災学習の実施	関係機関			

沖永良部島地域流域治水プロジェクト

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

防災ワークショップの実施【気象庁】

気象庁ワークショップ

ワークショップ概要

時間 1時間30分～2時間程度

対象 小学校高学年から大人まで

定員 10人～50人程度

- 防災意識を高め、実際の行動につなげていただくため、自らの問題として日頃からの備えや適時適切な防災気象情報の入手とその情報を活用した**安全行動を事前にシミュレートする**能動的な学習方法。
- 参加者アンケートの結果からは、**ワークショップに参加する前後で安全知識や防災対応力が大きく向上することが認められています。**



質問を交えながら進めるわかりやすい解説



少人数のグループに分かれ、様々な意見をまとめて対応を考えるグループワーク

基本形 130分

- イントロダクション 5分
- A レクチャー 20分
- 休憩 10分
- グループワーク 60分
- ステップ①
- B ステップ②
- ステップ③
- C 発表・まとめ 35分

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災学習の推進	防災ワークショップの実施	関係機関			

沖永良部島地域流域治水プロジェクト

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

水位計・監視カメラの設置、防災情報の提供【鹿児島県，気象庁】

- 各機関において、防災情報の提供を目的に、水位計・監視カメラ・雨量計を設置しているところである。
下図のように沖永良部島地域内の施設位置を示し、自分が住んでいる地区にはどのような観測機器があるか、そして、自分の身を守るための防災情報として何の情報が取得できるか、自らの自助・共助へ繋げるよう、防災意識の更なる高揚を図る。
- また、洪水時における氾濫発生の可能性が高い箇所等の危険箇所や、地先レベルの水位・状況を把握することを目的に、危機管理型水位計・簡易型カメラも設置しており、今後、必要に応じて、追加設置を行っていく。

沖永良部島地域内に設置されている各施設数 (R4.3末時点)

管理者	水位計		カメラ	雨量計
	水位局	危機管理型		
鹿児島県	—	1	1	2
気象庁	—	—	—	—
合計	—	1	1	2



簡易型河川監視カメラ



沖永良部島地域における水位計・監視カメラ・雨量計の位置図



危機管理型水位計

凡例

- ▷ 水位計, カメラ
- ▲ 水位計
- △ 危機管理型水位計
- 雨量計(県)
- 雨量計(気象庁)

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減, 早期復旧・復興のための対策	防災情報, 避難体制の検討・連携強化	水位計・監視カメラの設置, 防災情報の提供	鹿児島県, 気象庁	▶		

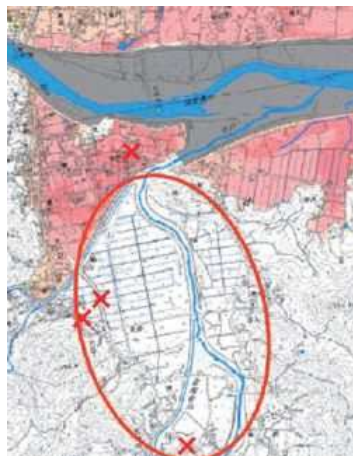
沖永良部島地域流域治水プロジェクト

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

洪水浸水想定区域図の作成・公表【鹿児島県】

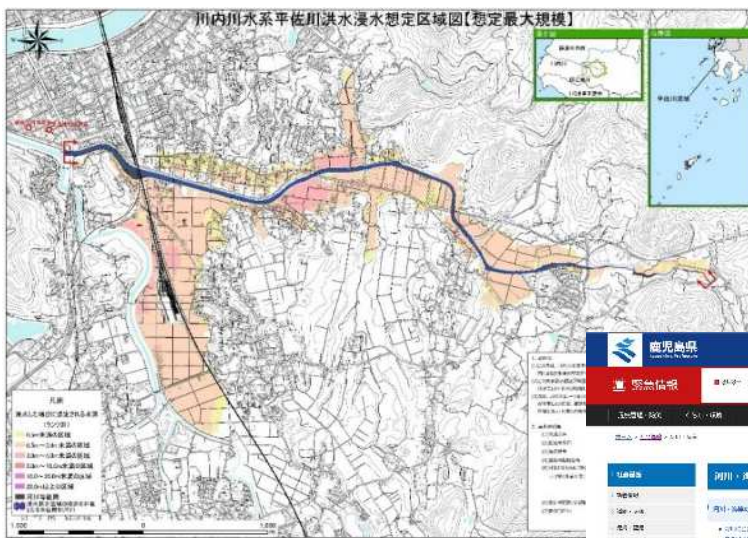
- ・令和3年の水防法の改正に伴い、洪水浸水想定区域の設定が洪水予報河川や水位周知河川等だけではなく、住家等の防御対象のあるすべての河川に拡大された。
- ・新たに設定が可能となった河川について、洪水浸水想定区域図を作成・公表し、水害リスク情報空白域の解消を図る。

洪水浸水想定区域外で浸水被害があった事例



洪水浸水想定区域の設定がなく、水害リスクが示されていないエリア（水害リスク情報空白域）

浸水想定区域図（仙台河川国道事務所）
赤×印は被害発生位置



洪水浸水想定区域図のイメージ



県HPで公表予定

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	土地のリスク情報の充実	洪水浸水想定区域図の作成・公表	鹿児島県			

沖永良部島地域流域治水プロジェクト

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

鹿児島県水害リスクマップの運用【鹿児島県】

- 鹿児島県で把握・公表している水害リスク情報（洪水浸水想定区域や浸水実績）について、地図情報上に集約化し、「鹿児島県水害リスクマップ」として県ホームページに公表（R3.2月末より運用）

トップページ

洪水浸水想定区域

浸水実績等の周知

河川名	水島川	注意事項
被災年月日	令和元年7月1日(準雨)	*被災箇所の市町村等は、自治体の名称からなっています。
被災箇所	いちき串木野市大里地内	*浸水範囲、水深等は、被災時の現地調査、現地取材によるものです。
浸水原因	堤防決壊(2ヶ所)	

トップページ(拡大)

河川名：水島川
被災年月日：令和元年7月1日
被災箇所：いちき串木野市大里地内
被災原因：堤防決壊
浸水実績箇所

神ノ川水系 神ノ川・長松川・下谷口川
浸水想定区域（神ノ川・長松川・下谷口川）
公開範囲

● 洪水浸水想定区域
● 浸水実績

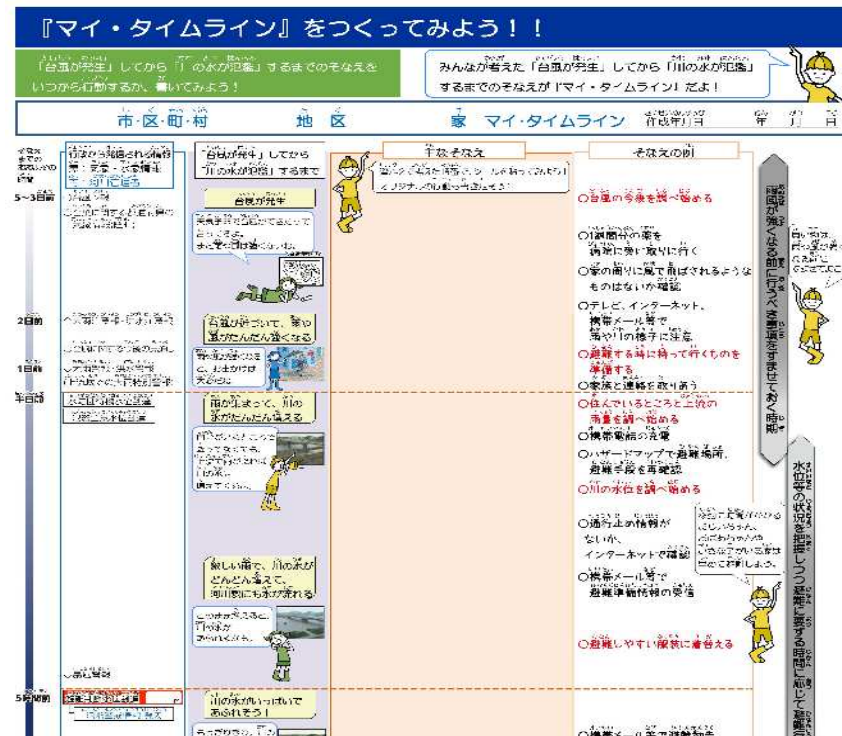
それぞれの枠内をクリックで
詳細メニューの表示

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災情報、避難体制の検討・連携強化	鹿児島県水害リスクマップの運用	関係市町、鹿児島県			

沖永良部島地域流域治水プロジェクト

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

マイタイムラインの作成・支援 【鹿児島県】



今後、県及び市町村の防災担当職員を対象に説明会を開催予定。それを受けて、各市町村において地域住民対象の説明会の開催を検討してもらい住民自らが作成していけるよう取り組みを進めていきたい。

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災情報、避難体制の検討・連携強化	マイタイムラインの作成・支援	関係市町、鹿児島県			

沖永良部島地域流域治水プロジェクト

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

地域の防災力向上【鹿児島県，和泊町，知名町】

地域の防災リーダー育成

地域防災リーダー養成講座の様子



講義（自主防災組織）



AEDを使用した心肺蘇生法訓練

モデル地区による地区防災計画作成



防災さんぽ
(まち歩き)



↑
DIG（災害
図上訓練）の
様子

防災研修センター による出前講座

非常持出品について考えよう！！



異なる重さのリュックを背負ってもらい体験してもらいました



でく・でく歩こう

参加人数
240人

その他の取組

- ・MBCラジオ「防災ワンポイント」
- ・防災・お天気フェア
- ・防災啓発研修会 等

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	地域の防災力向上	・防災研修，出前講座等	鹿児島県，和泊町，知名町			

沖永良部島地域流域治水プロジェクト

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

地域の防災力向上【鹿児島県、和泊町、知名町】

個別避難計画作成

- ・ 市町村においては、災害対策基本法に基づき、避難を支援するための避難行動要支援者名簿（以下「名簿」という。）の作成が義務づけられており、本県では、全市町村が作成済となっている。
- ・ 当該名簿については、本人の同意を得るなどし、市町村から消防機関や自主防災組織等へ提供できることとなっており、市町村において取り組んでいるところ。
- ・ また、市町村は、名簿情報に係る避難行動要支援者ごとに、個別避難計画を作成することとしており、令和4年4月1日現在の作成状況は、対象者全員が8団体、一部の対象者が31団体、未作成が4団体となっている。
- ・ 県では、引き続き、市町村に避難行動要支援者への対応に関する取組を紹介するなどして、名簿情報の提供や計画作成を促進してまいりたい。
- ・ これらを踏まえ、町の努力義務となっている個別避難計画の作成について、流域治水プロジェクトにおいても、あらゆる関係者と共に議論していく必要がある。

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	地域の防災力向上	・個別避難計画策定支援	和泊町、知名町			

沖永良部島地域流域治水プロジェクト

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

防災避難訓練（石橋川・奥川水系）【和泊町】

・避難所開設，避難経路の確認を行い，水害を含めた災害時に備えて，迅速かつ適切な災害応急対策が行われるよう訓練を行う。また，訓練を通して地域住民の災害への防災意識向上を図る。

防災避難訓練



防災研修



区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	地域の防災力向上	防災訓練	和泊町	▶		

沖永良部島地域流域治水プロジェクト

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

防災無線の個別受信機を全世帯へ設置（余多川水系）【知名町】



防災無線の個別受信機を全世帯へ設置し、防災情報の確実な伝達を図る。



区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	地域の防災力向上	防災無線の個別受信機の全世帯への設置	知名町	▶		

沖永良部島地域流域治水プロジェクト

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

ため池ハザードマップ作成・公表（石橋川・奥川水系）【和泊町】



ハザードマップの公表について

【経緯】

本町には決壊した場合に人的被害を与えるおそれのある防災重点ため池が18箇所あり、緊急時の避難経路や避難場所を示したハザードマップを作成・公表することで地域の防災意識の向上を図る。

【防災重点ため池とは】

決壊した場合の浸水区域に家屋や公共施設等が存在し、人的被害を与えるおそれのあるため池

(令和4年4月1日時点)

農業用ため池の総数	うち、防災重点ため池
89箇所	18箇所

和地区調整池



ハザードマップには、ため池名、貯水量、緊急時の避難所を掲載

上手東池



区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	土地のリスク情報の充実	ため池ハザードマップの作成・公開	和泊町			

沖永良部島地域流域治水プロジェクト

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

ため池ハザードマップの作成・公表（余多川水系）【知名町】



農業用ため池ハザードマップの公表

【目的】

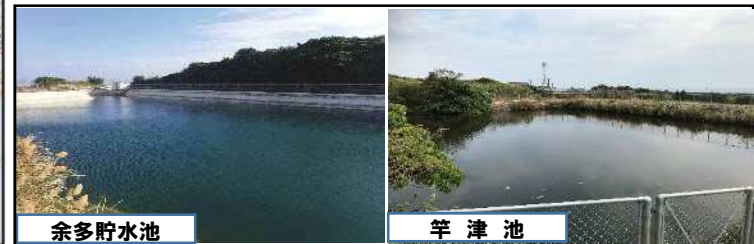
大規模な地震や豪雨等で決壊した場合に人的被害のおそれがある防災重点ため池について、被害想定区域や避難場所を表示したハザードマップを作成し町ホームページに公表した。緊急時における迅速な避難につなげるとともに、地域住民の自主防災意識向上のため、マップの配布及び字公民館へ看板を設置し住民へ周知を行った。

【防災重点ため池とは】

決壊した場合の浸水区域に家屋や公共施設が存在し、人的被害を与えるおそれのあるため池。

農業用ため池（箇所）	うち防災重点ため池（箇所）
4	2

※余多川水系内にある農業用ため池数及び防災重点ため池数を掲載



区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	土地のリスク情報の充実	ため池ハザードマップの作成・公表	知名町			